

19. こどもへの絵本の読み聞かせ活動をおこなう シニアボランティアグループの支援

グループ名 りぷりんと・ネットワーク

代表者名 塩崎 昇

① 活動の目的

私たち「りぷりんと・ネットワーク」の活動は、こどもへの絵本の読み聞かせ活動をおこなうシニアボランティアグループの情報交換を促進し、グループとして活動を継続していけるように支援し、参加するグループの意見を集約し全体的な方向性を定め、取り組みに関する情報を蓄積・発信することなどを通して、所属するシニアボランティアの個々の活動を間接的に支援することを目的としています。

② 活動概要

【活動の動機・経緯】

私たち「りぷりんと・ネットワーク」は、2004年に東京都健康長寿医療センター研究所のモデル研究事業（研究事業名：REPRINTS）として東京都中央区・神奈川県川崎市・滋賀県長浜市の3地域で開始されたシニアによる子どもたちへの読み聞かせを行うボランティアグループの代表者が集まって結成された、いわば、代表者連絡会です。

3地域は3年の研究協力期間終了後も活動への熱意と主体性から任意ボランティア団体として個々に独立して活動を開始しました。しかしながら、各地域の抱える課題には、シニアボランティアグループならではの共通点が多かったことから、各個に課題に取り組むよりは、情報を共有し、解決策をお互いに出し合い、相互に連携をとりながら対応するほうが効果的ではないかとの声があがるようになり、2008年に東京近郊の代表者が集まって定期的に会議が開催されるに至りました。これが当代表者連絡会の発足の動機であり経緯です。

現在、私たち「りぷりんと・ネットワーク」には、発足当初の3地区に加えて、その後、シニアによる絵本の読み聞かせ団体として発足した横浜市青葉区、東京都杉並区、豊島区、文京区の4地区の代表が参画しています。

規模が拡大しても、読み聞かせの技術、ボランティアとしてのマナーなどの水準を保ち、活動の趣旨や方向性がぶれないようにするためには、グループ相互の情報共有、意思疎通、方針の統一が欠かせません。さらに、活動開始の早い地区はグループ発足から10年が経過しており、身体および認知の機能の低下や体調不良など活動を継続するのが困難な者が出始めています。

こうしたメンバーの活動をグループとして支援するためのノウハウを蓄積し、退会者と休会者の増加に対して新規のボランティアの補充とそのための養成講座を開催するといった対応は、グループ単体では難しく、「りぷりんと・ネットワーク」が中心となって取り組

むべき喫緊の課題となっています。

【活動概要】

上記の課題に取り組み、さらには、各グループの読み聞かせ活動のさらなる発展を支援するために、組織基盤を整えていくために、昨年 2014 年 8 月に「りぷりんと・ネットワーク」を NPO 法人化しました（この法人化は約 1 年間の準備期間を設けて行いました）。

この法人化に伴い、2、3 ヶ月に 1 度開いていた会議（以下、理事会）を 1 ヶ月に 1 度に増やしました。また、これとは別に、ニュースレター（添付資料 1、2 参考）の発行や活動紹介用のリーフレットの作成を担当する広報委員会を設けて、隔月程度のペースで会議を設けました。さらに、りぷりんとで行う読み聞かせボランティア養成講座のためのカリキュラムやテキストの作成・検討のために研修委員会を設け 1 ヶ月に 1 度のペースで会議を行いました。

貴団体からの助成金は、以上の会議、委員会出席者の交通費とニュースレターの印刷費として計上させていただきました。

また、会員からの会費とその他の助成金で NPO 主催のイベントとして、昨年 11 月 26 日（水）に 10 周年記念の式典を行いました（添付資料 3 参照）。また、翌年の 2015 年 3 月 14 日、15 日に読み聞かせボランティア・インストラクター養成講座、6 月 6 日（土）に総会を行いました。

以上の大きな 3 つのイベントの開催に向けての話し合い、反省会のために理事会、委員会の多くの時間が配分されました。

【活動経過】

2014 年 8 月から 2015 年 10 月までの活動は以下の通りでした。

東京都より 2014 年 8 月 16 日（土）に NPO として認証された旨通知があり、28 日（木）に法務局にて登記の手続きを済ませました。また、同日 28 日（木）に NPO 法人設立後の第 1 回目の会議（以下、理事会）を行いました。9 月 25 日（木）に第 2 回目の理事会を開催しました。10 月 23 日（木）に第 3 回目の理事会、および、ニュースレターの発行や活動紹介用のリーフレットの作成を担当する第 1 回広報委員会を開催しました。

11 月 26 日（水）にりぷりんと 10 周年記念式典を行いました（写真 1）。12 月 5 日（金）に第 2 回広報委員会を開催しました。ついで、12 日（金）に第 3 回目の会議を開催しました。1 月 16 日（金）に第 4 回理事会を開催しました。

2 月 18 日（水）りぷりんとで行う読み聞かせボランティア養成講座のためのカリキュラム、テキストの作成検討のための研修委員会（1 回目）を開催しました。28 日（土）に第 5 回理事会を開催しました。3 月 14 日、15 日に絵本読み聞かせインストラクターの養成講座を開催しました（写真 2）。4 月 4 日（土）に第 6 回理事会、および、第 2 回研修委員会を開催しました。

5 月 9 日（土）に第 7 回理事会、および、第 3 回研修委員会を開催しました。6 月 6 日（土）

に第1回総会（写真3）、および、講演会を開催しました。27日（土）に第8回理事会、第4回研修委員会、第3回広報委員会を開催しました。7月30日（木）第5回研修委員会、第4回広報委員会を開催しました。

8月27日（木）第9回理事会が開催されました（写真4）。31日（月）に第6回研修委員会が開催されました。9月8日（火）に第5回広報委員会が開催されました。18日（金）に第7回研修委員会が開催されました。10月30日（金）に第6回広報委員会が開催されました。31日（土）に第10回理事会が開催されました。



写真1 2014年11月26日 りぷりんと10周年記念式典での集合写真



写真2 2015年3月14, 15日 読み聞かせインストラクター養成講座の様子



写真1 2015年6月6日 総会の様子



写真2 理事会の様子(2015年8月27日)

【まとめ】

各シニアボランティアは、こどもへの絵本の読み聞かせによる交流活動をとおして、次代を担う子どもたちに自らが伝えたい思い、英知、経験を伝えるとともに、自身は、お互いに活動を支えあいながら、健康維持・増進（認知症予防、介護予防）と生涯学習を継続すること、さらには、地域交流を通して、地域につながり、ぬくもり、やすらぎを届けることを目指して活動しています。

私たちは、今後もこうした活動を続けていききたいという会員の声に応えるためにNPO法人としての組織の基盤の整備をすすめていきたいと考えています。

③ 決算報告

収入 大同生命厚生事業団助成金	100,000
支出	
第3回～第8回 川崎 理事往復交通費（延べ15名）	20,340
第1回～第5回 川崎 広報委員往復交通費（延べ9名）	12,204
川崎 振込手数料	216
第3回～第8回 すぎなみ 理事往復交通費（延べ10名）	7,200
第1回～第5回 すぎなみ 広報委員往復交通費（延べ7名）	5,040
すぎなみ 振込手数料	216
第3回～第8回 中央区 理事往復交通費（延べ7名）	4,354
第1回～第5回 中央区 広報委員往復交通費（延べ3名）	1,866
中央区 振込手数料	216
大型絵本2冊(9720円×2冊)	19,440
第25号NL印刷代(白黒350部)+代引き手数料(1/7)	7,563
第26号NL印刷代(カラー200部)+代引き手数料(2/27)	7,630
第27号NL印刷代(カラー200部)+代引き手数料(8/3)	7,300
郵送費・11/4 切手代82*5(内4枚NPO会費納入案内)	410
消耗品・11/4 封筒代	710
郵送費(NLあおば宛)	250
レターパックライト360円×3枚(中央・川崎・すぎなみ宛)	1,080
コピー用紙(アスクル リサイクルペーパーA4)1箱	3,384
3色ボールペン(トンボ鉛筆 3色ボールペン)216円×3	648
合計	100,067